

補助事業番号 19-1-104

補助事業名 平成19年度青少年の健全育成補助事業

補助事業者名 財団法人日本棋院

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

囲碁の啓発・普及を通じて礼儀の習得、思考力の養成等青少年の健全な育成を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容等

①学校指導員講習会の開催 期間 平成19年7月24日～平成20年3月15日

学校囲碁指導員講習会を、焼津、岡山、文京区、大町、江戸川区、羽島、東大阪、安城、豊見城、横須賀、高松、千代田区、大仙、青森、千代田区、北杜、北本の17会場で実施し、のべ640名が参加した。各会場には2名ないし1名のプロ棋士を派遣し、児童・生徒に囲碁を指導する教職員及びOB・OGに加え、青少年の囲碁指導に興味を持つボランティアを対象に、主に入門・初心者への指導のポイントを講義し、指導へのアドバイスをを行った。

②全国高校囲碁選手権大会の開催 期間 平成19年7月24～26日

第31回全国高校囲碁選手権大会・全国大会は7月24日から7月26日迄の3日間、東京の日本棋院・本院に於いて開催し、全国47都道府県大会で選出された団体戦代表校（男子48校144名・女子45校135名）と個人戦代表選手（男子97名・女子48名）による予選リーグ、決勝トーナメント戦で男女とも1位から8位までを決定した。

2. 予想される事業実施効果

学校囲碁指導員講習会の開催では、入門・初心者への指導方法について理解を深め、知識を高めることによって、よりの確な指導対応ができ、各学校でのクラブ活動の充実と、囲碁の底辺拡大に大きく寄与するものと予想される。

全国高校囲碁選手権大会の開催では、全国大会においては、各県トップレベルの代表校・代表選手と対局し交流を深めることで、選手は大いに刺激を受け、より高いところに今後の目標を定めて、一層のレベルアップに励むことが期待できる。県予選においては、選抜戦と認定大会を併催することによって、入門者から高段者まで、全てのレベルの生徒が参加可能である。参加者は、普段は交流のない他校の同レベルの生徒と対局することで、自らの棋力を客観的に把握し、より具体的な目標を立てやすくすることが出来ると予想され、青少年への囲碁普及において、中核をなす役割を担っている。

3. 本事業により作成した印刷物

学校囲碁指導員ガイドブック 4,000部

配布先：講習会参加者、開催都県の高等学校囲碁連盟

全国高校囲碁選手権大会パンフレット 1,500部

配布先：参加校・参加選手、大会協賛各社

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：財団法人 日本棋院（ニホンキイン）

住所：102-0076

東京都千代田区五番町7-2

代表者名：理事長 大竹 英雄（オオタケ ヒデオ）

担当部署：普及事業部（フキユウジギョウブ）

担当者名：次長 鈴木 秀一（スズキ ヒデカズ）

電話番号：03-3288-8725

F A X：03-3261-5841

E-mail：h-suzuki@nihonkiin.or.jp

U R L：<http://www.nihonkiin.or.jp/>